Mari Suzuki コンテンポラリー・ミュージック・ワークショップ

Contemporary Music Workshop

6回シリーズ

Pops や Jazz の楽曲をレッスンに取り入れるには、従来に無い演奏感覚やテクニック、そして何よりもリズム感覚が欠かせません。オーソドックスなピアノレッスンで使用する教材と、ポップスやジャズと分類されている現代の楽曲ではなかなか接点を見出すことができませんが、ポップスやジャズを近現代のクラシックの楽曲構成から派生したものと位置づけ、レッスン進度や技量にあわせた導入の仕方を勉強します。
このワークショップではポップスやジャズの曲を、日頃のレッスンの「聴く」「歌う」「真似る」ことの延長線上に、位置づけて吸収していただくことを目指します。そのために、小学校中学年から高校までおよそ８年分の習得プロセスモデルを用意しました。このワークショップでは、レッスンに最適のアレンジをそれぞれのレベルに合わせて用意します。

【レッスン】　演奏実技指導　月１回(6ヶ月単位)　通期課題曲とアレンジ曲　(教材楽譜付き)
理論指導　楽曲分析と理解

【定　員】　グループ指導につき１クラス 10 名まで

【日　程】　①6/24　②7/22　③9/2　④10/7　⑤11/4　⑥12/2　※全回共金曜日

【受講対象者】　自宅教室でピアノご指導されているピアノレスナーの先生方

【受 講 料】（６回分）　一般　30,000 円　／　PTNA 会員　27,000 円
PTNA 船橋支部＆伊藤楽器 P.T.C 会員　24,000 円
(レッスン、理論指導、教材楽譜込み　税込み　事前全納制)

【基本課題】　耳を使い「聴く」、旋律を「歌う」こと、奏法を「真似る」ことの三つの軸を同時に進めます。聴く力、聴いた旋律やリズムをトレースし、再現する力、リズムに乗る力を磨き、Jazz や Pops に不可欠なリズム感や旋律、和声を聴き判断する力を養います。
ワークショップでは課題となる教材楽譜を用意しますが、必要に応じ、別途「はじめてのギロック」などの市販教材を使用します。

理論・座学指導			演奏実技指導
リスニング	リズム体	和声	テンポとリズムの捉え方
代表的な曲を知る	2 Beat	和声の基本	音価を意識する
	8 Beat		アクセントの処理
同一曲の異なるパターン	8 Beatのバリエーション	調性と度数	アーティキュレーション
	Latins	コードの考え方	
構成パターンを聴く	16 Beat		3連の音処理
		音階とスケール	アンティシペーション
トレースとコピー	4 Beat		
	Jazz Waltz	和声の進行パターン	レガート、ノンレガート
ベースライン			
カウンターメロディー		代理和音	演奏のまとめ方

シリーズ全６回の内容は、５月 27 日のガイダンスでご説明いたします。